

学校教育目標

- 1 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える教育
- 2 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長を目指す教育
- 3 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う教育

生徒の実態

- 自分自身に自信の持てない生徒が多く、自らの力で切り開こうとする積極性に欠ける

保護者や地域の願い

- 1 自己実現のための基礎学力を養い、知識技能の活用能力を磨いて欲しい
- 2 他者を理解し、協調して行動できる豊かな心を育て欲しい
- 3 自立と共生の生き方を身に付け、人間関係を築く基盤を養って欲しい

道徳教育の重点目標

- 1 人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行う
- 2 豊かな心、公共の精神、郷土愛を育み、未来を切り拓く基盤としての道徳性を養う
- 3 高等学校における道徳教育の指導法の工夫・改善に努める

教科・科目

- 各教科・科目の目標を達成する学習活動の中で道徳性を育成する

(例)

国語科においては、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、豊かな人間性を培うよう指導する。

公民科においては、現代の社会について公正な判断力を養い、人間としての在り方生き方についての学習を充実させる。

保健体育科においては、集団生活を通してルールやマナー、お互いの健康を大切にしようとする態度を育てる。

家庭科においては、生活の知識と技術を習得し、自分の生き方を考え、生活をより良くする。

特別活動

- ホームルーム活動

集団生活を通して望ましい人間関係を確立し、集団の一員としての在り方を考え、当面する諸問題に主体的に取り組む態度を育てる。

- 生徒会活動

生徒会を中心に、学校生活の充実・改善を図ろうとする自主的態度を育てるとともに、愛校心を養う。

- 学校行事

学校行事を通して、他人との関わりを学び、自らを振り返りながら、日常生活を充実させる。

総合的な学習の時間

- 各教科・科目及び特別活動で身に付けた知識や技能等に関連づけ、自己の在り方生き方について考えさせる。

- 自ら学び、自ら考え、主体的に判断できる力を育成する。

関係法規等

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領及び解説

道教委資料

- 教育課程編成・実施の手引